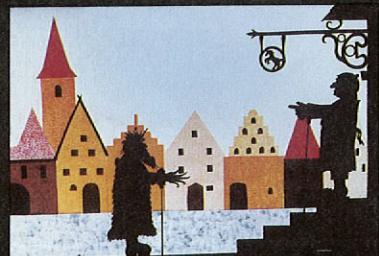


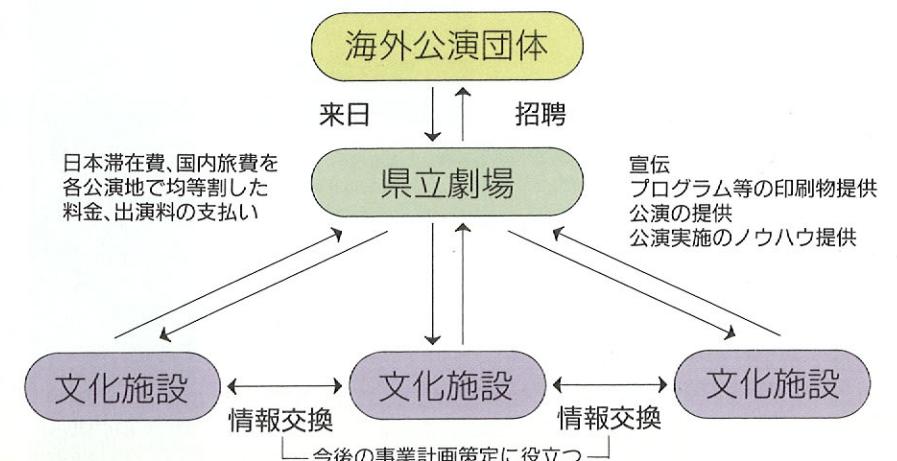


質の高い文化を 手軽に楽しむ環境づくり 文化施設ネットワーク事業



ヘルリン人形劇

文化施設ネットワーク事業



物語の解説を行う

「身近な施設で優れた文化に巡り合いたい」。地方に住む人々の間に文化を求める声が高まっています。このような要望に応え熊本県では、全国に先駆けた取り組みを始めました。文化施設ネットワーク事業がそれです。これは、県と市町村が一体となり、より多くの皆さんに、より優れた質の高い文化に接していくことをするものです。

その事業の中心となるのが県立劇場です。同劇場は、これまで過去八年間の経験で蓄積した事業能力、情報網、交渉ノウハウを活かし、いわば、同劇場がプロモートする形で海外の実力あるアーチストを招へいし、公演を県内の公立文化施設と共同で実施します。

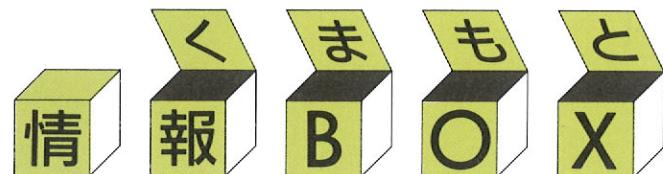
「いい舞台芸術を提供したいが、公演にこぎ付けるまでのノウハウも予算も少ない」。このような悩みを持ついた地方の文化施設にとっても、充実した自主文化事業を実施できる可能性が大きく広がりました。

県立劇場の役割
●芸術団体との交渉
●文化施設での公演のプログラム、ポスター、ちらし等の印刷
●公演の広報活動
●上記活動の経費負担
各公立文化施設のメリット
●通常より格別に安い費用で、効率的な文化事業を実施することができる。入場料金を低価格にできる。
●公演に関する豊富な情報が得られる。県立劇場による舞台技術等に関する協力、指導が受けられる。

本年度は、五月十日に益城町文化会館で行われた西ドイツのクレメンティ・トリオ・ケルンの演奏会を皮切りに海外三団体の公演が五つの市町村で計七回行われます。

この共同公演の積み重ねにより各公立文化施設の企画及び運営能力が向上すると同時に、情報交換によって各公立文化施設間のネットワークが強まることが期待されています。

今後、質の高い舞台芸術を県内各地で、いながらにしてお楽しみいただける機会が増していくことでしょう。



観光トイレをリフレッシュ

今まで、「汚い、暗い、怖い」のトイレの「4Kイメージ」です。阿蘇、天草など日本屈指の観光地を有する熊本。この4Kで熊本の印象を決定づけられては、世界に誇れる豊かな観光資源も宝の持ち腐れです。

観光客に敬遠される要因は、「汚い、暗い、怖い」のトイレの「4Kイメージ」です。阿蘇、天草など日本屈指の観光地を有する熊本。この4Kで熊本の印象を決定づけられては、世界に誇れる豊かな観光資源も宝の持ち腐れです。

今までに、次のようなリフレッシュ事業が完成しました。

ソーラートイレ 俵山峠の売店兼トイレス

これまで汲み取り式でしたが、売店内に水洗式トイレが併設されました。電気設備は、南阿蘇の景観と環境問題を考慮し、クリーンエネルギーの太陽電池システム。五十個の太陽電池によりトイレの浄化設備、照明、自動販売機の電源などがまかなわれます。

これまでのトイレでは、観光バスによる団体客を中心とした多くの観光客に対応できず、また、悪臭が強くて敬遠されがちでした。新たに作られた水洗汲み取り式トイレでは、特に女子トイレペースを増やし、親子づれのための子供用小便器等も設けられています。

外観は「字型で周囲に合わせて茶系色、内部は明るいタイル張り。トイレ観、メンテナンス業界の意見や情報などを取り入れながら、整備を進めています。県有トイレについては、十ヵ所が本年度は、通潤橋(矢部町)岩戸観音(熊本市)芦北海岸(芦北)など全八ヵ所。市町村有トイレについては、十ヵ所がリフレッシュされます。

美しく、きれいなトイレの完成をお楽しみにお待ちください。

